

目的 水 電力 洗剤の節減と洗淨力の向上を目指して 家庭洗たくの方法を検討した結果 ニ三の知見を得たので報告する。

方法 試布は汚染布用モメン布を11×15cmに切り、精練したものを用了。

汚染布調製法： 汚染浴組成 オレイン酸0.5g、ミリスチン酸0.5g トリスチアリン酸0.3g パラソロンロー0.3g カーボンブラック0.05gを乳鉢でよくすり、四塩化炭素に分散させ1分間汚染した。汚染布は四つ切とし 平沼反射率計で表面反射率を測定し 反射率38±1%のものを洗淨試験に供した。

洗淨条件： 汚染布は1mの晒モメンに2枚かゝ縫いつけたもの5枚と、別に荷重1kgになるように晒モメンを加えた。洗たく機は日立製四段水流切換えのもの、洗剤は市販弱アルカリ性洗剤 時間は10分(予洗時間も含め)、すすぎ3回 水道水常温

実験項目：① 予洗有無の洗淨力への影響、② 浴比の影響(1:15、1:20)
③ 洗淨過程浴のpHと、すすぎ回数、④ 酸通しと白度上昇、⑤ 脱水時間と含水率
結果 ① 予洗を含め洗淨時間を10分とした場合 本洗いの時間の長い方が洗淨力が高い、② 濃度は表示の0.15%の洗淨力が高く、0.12%ではやや劣る。③ 浴比1:15と1:20間には有意差がなく節水上1:15でよい。④ すすぎ回数は表示濃度使用では3回低濃度では2回で水道水と同じpHとなる。⑤ 酸処理7分で白度上昇が認められ0.12%でも0.15%洗剤使用と有意差がない。以上のことより酸通しをおこなうと洗剤の節約、すすぎ回数減により節水となり 電力も節減されて良策と思う。